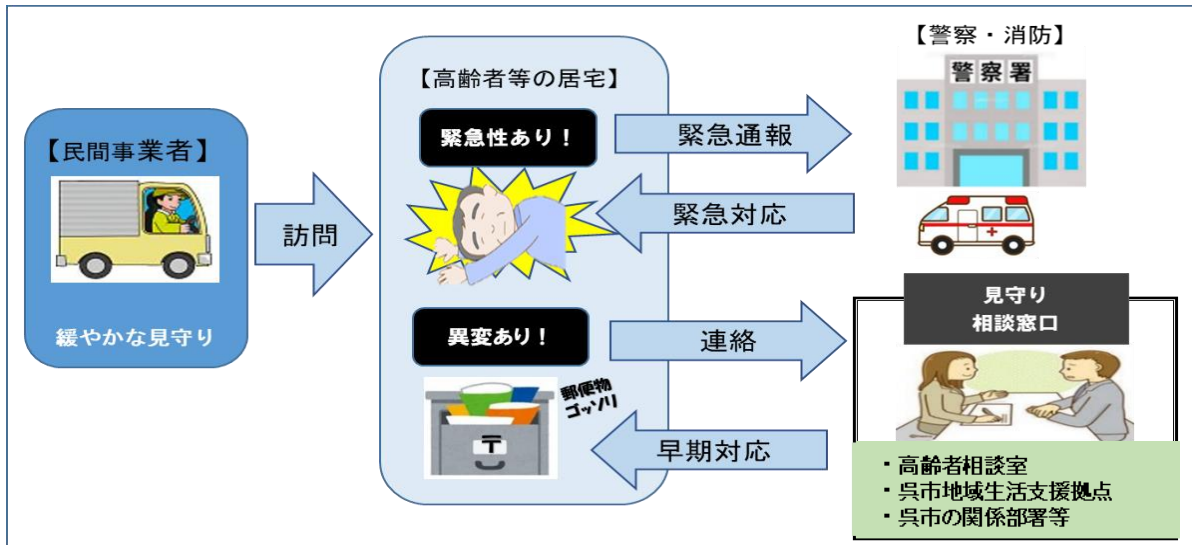


呉市見守りネットワーク事業の概要と令和5年の活動実績等

1 事業概要

誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができる地域社会の実現を目指して、事業活動を通じて高齢者や障害者（以下「高齢者等」といいます。）と接することの多い民間事業者等と市が連携することにより、異変のある高齢者等や何らかの支援を必要としている高齢者等を早期に発見し、地域社会全体で見守ることのできるネットワークを構築します。

○高齢者等の異変を発見した場合の対応の流れ

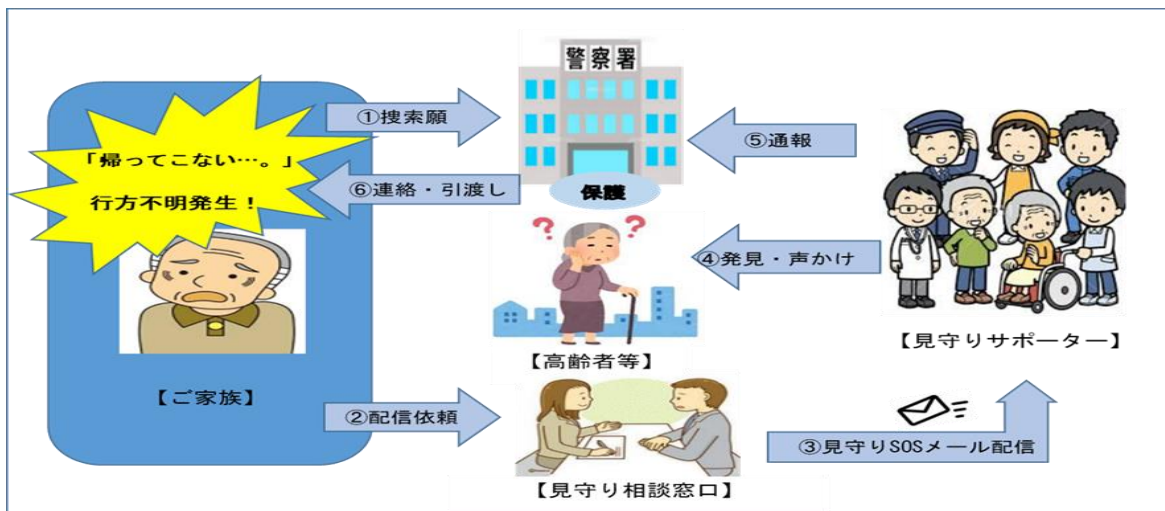


【参考：見守り相談事例：（連絡者）宅配事業所】

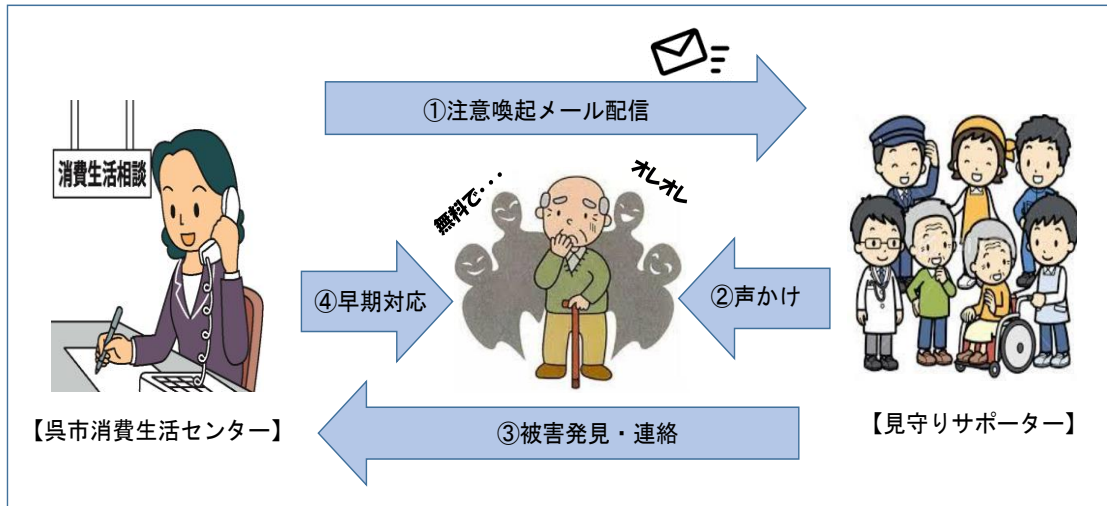
相談内容：95歳 男性 一人暮らし。毎週1回配達のため訪問しているが、本人の足がおぼつかない状況で、対応した配達員から心配との報告があり、連絡した。

対応：高齢者相談室（地域包括支援センター）に連絡し、家庭訪問及び状況確認を依頼。包括職員が家庭訪問したところ、本人が倒れていた。意識はあったが、主治医に連絡したところ、本人は心臓に持病があるとのことだったため、娘に連絡し、救急搬送の対応を行った。

○ 行方が分からなくなった高齢者等の早期発見・保護



○ 消費者被害への注意喚起による未然防止



2 令和5年（1月～12月）の活動実績

協力機関（協定を締結した民間事業者）数	25事業者
見守りサポーター登録者数	250人
高齢者等見守り相談件数	7件
見守りSOSメール事前登録者数	184人
見守りSOSメール配信件数	17件
（再掲）行方不明高齢者等の捜索協力依頼	3件
（再掲）消費者被害情報の提供	14件

3 今後の取組方針

地域で暮らす誰もが主体となって「見守り」ができるまちを実現するには、制度の周知とともに、見守りサポーターの協力が欠かせません。

現在、見守りサポーター登録者数は横ばいの状況のため、新たなサポーター確保のため、民生委員児童委員協議会等に出席するなど地域に出向き、本事業についての啓発や協力依頼を行っていきます。

また、民間事業者等の協力機関については、活動事例等を共有し、引き続き事業への協力依頼を行うとともに、地域の「見守り」機能を更に強化するため、協力機関の拡大と連携強化を図ります。